

# グループ設定構想調書に関する作成要領

## I 全体の注意事項

- ①調書Aについては、1.から 4.までの項目となります。必要に応じて、適宜行を増やして記載してください。
- ②調書Bについては、5.から 9.までの項目となります。項目ごとの記載の分量は任意で構いませんが、5頁以内で記載してください。なお、フォント(MS P 明朝)、サイズ(11)及びレイアウトは変更しないでください。
- ③公募要領を熟読し、要領の内容に沿った調書を作成してください。

## II 個別の項目に関する注意事項

### 1.構想グループ名

文字数に制限はありませんが、あまり冗長にならないように工夫してください。

### 2.グループリーダー候補者名、所属機関・職名

産業界からのメンバーを候補者にした場合には、国税庁「法人番号公表サイト」<sup>(\*)</sup>にある「商号又は名称」欄の表記を記載してください。

学界からのメンバーを候補者にした場合には、科研費電子申請システムの所属研究機関担当者向け情報<sup>(\*)</sup>にある「機関番号一覧」の機関名を記載し、さらに職名を記載してください。

\*1: <https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/>

\*2: <https://www.kaken.jsps.go.jp/kaken1/kikanList.do>

### 3.参加予定メンバー数

本構想調書の作成時点の予定で記載してください。

### 4.参加予定のメンバー名簿

産業界からのメンバー、学界からのメンバーともに必要に応じて適宜行を追加して記載してください。

- ・所属機関については、「2.グループリーダー候補者名、所属機関・職名」欄のとおりとします。
- ・年齢については、令和7年4月1日現在の年齢を記載してください。
- ・専門分野については、判断可能な内容で枠に収まるように記載してください。

### 5.産学協力事業の意義・目的を踏まえた活動の背景、目的及び実施内容の全体像

公募要領「1. (3)委員会等の活動」に示す要素のうち、どの要素を選択したのかを記号で破線枠内に記載してください。また、選択した要素に関する実施内容を、その背景、目的とともに、具体的かつ明確に記載してください。

### ■記入例

選択した要素:(ア)、(エ)

## 6.グループ設定時点での活動計画の構想

メンバー全員を対象とした会議・研究会等(グループの運営に関する会議を除き、かつ、グループ内に閉じた開催に関するもの)について、初年度目及び2年度目の開催計画数を破線枠内に記載してください。また、具体的に設定初年度目及び2年度目にどういった活動をどの程度行う予定であるか、年度ごとに記載してください。

なお、各メンバー等による実験やフィールドワークなどの研究リサーチ活動はグループの活動に含まれませんのでご留意願います。

### ■記入例

メンバー全員を対象とした会議・研究会等の開催計画数:初年度目2回、2年度目3回

(具体的な項目A) 検討会議 初年度目:2回、2年度目:2回

(具体的な項目B) 研究会及び情報交換 初年度目:2回、2年度目:3回

総会 初年度目:2回、2年度目:2回

## 7.期待される活動の成果と積極的な成果の展開に対する展望

産学協力事業の意義・目的を踏まえた設定期間内における成果とその展開について記載してください。特に学界と産業界との連携により得られる効果について記載してください。

## 8.産学協力委員会としての組織化に向けた考え方

設定期間内において、産学協力委員会の「形式要件」を満たすための計画について、数値目標も含め具体的に記載してください。

## 9.グループの管理及び運営に関する分担や責務に関する説明

グループの管理及び運営に必要な体制や取組み、責任の所在等を中心に、秘密保持に関する取組み、知的財産に関する取組みを含め、具体的かつ明確に記載してください。